



総合教育センターだより

YAMANASHI PREFECTURAL
EDUCATION CENTER

143号 令和8年5月発行 山梨県総合教育センター

令和8年度のスタートにあたって 所長 中村 智司

山梨県教育委員会では、誰一人取り残されることなく、誰もが夢や希望の実現に向けて学び続けることができる教育の充実を目指し、「山梨県教育振興基本計画」に基づいた取組を推進しています。

「主体的に学び 他者と協働し 豊かな未来を拓く やまなしの人づくり ～誰もが教育の機会にアクセスできるやまなし～」を基本理念に掲げ、子供たち一人一人の可能性を最大限に引き出す教育の実現を目指しています。

この基本方針のもと、近年特に重視されているのが、「子供主体の授業」への転換です。子供たちが学びの主体となり、自ら問いを持ち、多様な他者と関わりながら課題解決に取り組む学びは、これからの社会において必要不可欠な資質・能力の育成に直結するものです。

こうした授業観・学習観の転換を支えるため、本センターでは、「新たな教師の学びの姿」の具現化に向けた研修の充実に一層取り組んでまいります。

昨年度より開始した「新たな教師の学びによる次世代リーダー研修会」では、探究的な学びのプロセスを通して、学校改善や授業改善に主体的に取り組む人材の育成を進めています。あわせて、管理職のマネジメント力向上を目的とした研修についても、現場の課題に即した実践的な内容の充実を図り、学校組織全体での課題解決力の向上につなげてまいります。さらに、すべての研修において、知識の習得にとどまらず、「対話」や「学びや実践の振り返り（リフレクション）」を取り入れ、先生方が自らを省察し、互いに学び合う機会の充実を図っています。

また、教育DXの推進に資するICTを活用した研修の充実にも取り組み、オンラインやオンデマンドの活用、やまなしeラーニング（YeL）の促進など、多様な学びの機会の提供に努めてまいります。

相談支援においては、各種相談体制の充実を図り、いじめや不登校、ヤングケアラー、発達に関する課題など、子供たちを取り巻く多様な課題に対して、関係機関と連携しながら丁寧な支援を行ってまいります。

本センターは、「学校教育を支援する確かな情報発信源としての総合教育センター」を基本方針に掲げ、教職員の資質・能力の向上と学校教育の課題解決に資する研修・研究・相談・ICT支援の各業務を総合的に推進しております。今後とも、「子供たち、先生方、学校のために何ができるか」を常に問い続けながら、山梨教育の「知の拠点」としての役割を果たしてまいります。

引き続き、関係機関の皆様と連携・協力を図りながら、所員一同、全力で取り組んでまいりますので、今後とも本センターの事業に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



研修指導課

令和8年度の研修について

「やまなし教員等育成指標」を踏まえ、本センターでは「学び続ける教員」を支援し、「新たな教員研修（探究型研修）」を具現化することを目指しています。そのため、「新たな教師の学び」の視点を取り入れ、体験・対話を効果的に活用した研修会運営に取り組んでいます。

さて、教育公務員特例法の改正により、教員の研修履歴の記録・管理が義務化されて以降、センターホームページの「研修MyPage」に研修履歴を記録する取組が定着してきました。このたび、先生方がご自身の学びについて見通しをもって計画し、管理職の先生方との面談等に活用できるよう、新たに「研修計画表」を作成しました。総合教育センターホームページよりダウンロードの上、ぜひご活用ください。

今後も、皆様からのご意見・ご要望をもとに研修内容の充実を図り、「学び続ける教員」として本センターの研修をより効果的に活用していただけるよう努めてまいります。

教師の個別最適な学びおよび協働的な学びの充実を通して、児童生徒の学びが一層豊かなものとなることを期待しています。本年度も本センターにおける研修会への積極的なご参加をお待ちしております。

本年度の法定（必修）研修について

以下では、法定研修のうち、特にご留意いただきたい2つの研修について説明します。

■ 初任者研修

本年度も前回・後回の2回編成で実施します。

初任者研修の受講記録は、複数回の研修を1枚にまとめて記入する様式に変更されており、総合教育センターホームページのキャビネットにPDF形式で提出する方法となっています。

研修内容については、身に付けてほしい力を丁寧に指導するとともに、事務手続きを一部簡素化することで、先生方の負担軽減を図ります。

■ 5年経験者研修

本年度も2回編成で実施しますが、昨年度とは異なり、採用年度の違い等に関わらず4/7（火）の申込事務説明会で各校に配布した対象者名簿にお示した実施日に分かれて行います。

採用年度や他県等での勤務経験により、研修時間や提出物が異なるためお気を付けください。

採用年度	研修時間	リポート研報告	YeL
令和2年度以降 (リポート研修あり)	終日	報告書を受付で提出 研修内で発表と協議	YeLを事前に視聴し、五年研受講報告書の五年研資質向上研修会(所長・次長講話リポート報告等)の部分に内容や所感等をまとめる。(YeL受講記録の提出は不要)
令和2年度以降 (リポート研修免除)		報告書の提出不要 研修内では協議のみ	
令和元年度以前	午後		YeLを事前に視聴し、YeL受講記録を受付で提出

概要は上記の通りですが、必ず「研修の手引」とあわせて、実施要項をご確認ください。(※実施要項は随時更新されるため、研修会直前に最新のものをご確認ください。)

調査研究課

1 研究支援

総合教育センターは、山梨県の教育の「知の拠点」としてシンクタンク機能の充実を目指し、学校の主体的な教育研究につながるように学校支援を行っております。

「『令和の日本型学校教育』の構築に向けた総合的な学校支援の充実—求められる資質・能力の育成に向けた学校支援のための実践研究の在り方—」を研究テーマに、「授業づくり・学校づくり」「情報教育」「相談支援」の三つの研究領域において研究を推進しております。本センターの指導主事がチームを組織し、教育課題の解決を図るための学校支援を目指し、「調査研究」「研究支援（校内研究・教育研究の支援）」「教育情報の開発、収集・分析」等を行います。「授業づくり・学校づくり」領域では、研究推進校（総合教育センターによる校内研究支援対象校）」とともに協同研究を行います。「情報教育」「相談支援」の各領域では、学校現場からのニーズやICT教育支援センター及び相談支援センターとしての専門性を踏まえた研究を推進し、実践的な学校支援となるよう、県下の学校に情報を発信していきます。

また、山梨大学とも連携し、各種学力調査の結果の協同分析・協同研究を推進することで、授業改善を中心とした研究支援を行います。

【令和8年度研究領域・研究推進校】

Ⅰ 授業・学校づくり研究領域	楡形西小学校（2年次）
	道志小・中学校（1年次・データ分析WG協力校）
	身延高等学校（1年次）
Ⅱ 情報教育研究領域	
Ⅲ 相談支援領域 (教育相談・教育支援/特別支援教育)	全県を対象とするため、研究推進校の指定はしない

2 学力調査の実施・分析

全国学力・学習状況調査や山梨県教育課程実施状況調査を実施し、結果から児童生徒に身に付いている力やつまずき等について分析し、小中学校や関係機関に対して分析の概要や授業改善のポイントについて資料を提示します。また、授業の改善・充実に向けた説明会を年間2回開催することで、児童生徒の学力の向上や教職員の資質・能力の向上を推進します。

本年度の研究の成果については、令和9年2月18日（木）の「センター研究大会」において、県内外に発信します。研究支援に関する研究発表及び参加者によるグループセッションを行う予定です。

また、研究紀要を作成しホームページに掲載します。（過年度の研究紀要はホームページにて閲覧することができます）

相談支援センター

相談支援センターでは、相談・研修・研究を通して、子供たちの健やかな成長を支援しています。学校関係者の皆様には、電話による相談や、ケース会議、校内研究会等への講師派遣を行っております。児童生徒・保護者の皆様には、電話や面接での相談を行っております。

《学校関係者の皆様》

教育相談担当：055-262-5904

不登校やいじめ、友人関係などに関する相談や校内研究会などの講師を行います。

特別支援教育担当：055-263-4606

特別支援学校への転入学、子供の発達に関わる相談、校内研究会などの講師を行います。

教育支援担当：055-262-6801

県内のSC、SSWや市町村の教育支援センターへの支援を行います。

《児童生徒・保護者の皆様》

■教育相談

お子さんの悩みや心配ごとに関する相談窓口

○電話相談：☎ 0120-0-78310（やまなし子供SOSダイヤル）365日24時間 受け付けます。

○面接相談：☎ 055-267-5887 平日 午前9時～午後5時 ※事前に電話でご予約ください。

■子供の発達相談

お子さんの発達に関する相談窓口

○電話相談：☎ 055-267-8235 平日 午前9時～午後5時

○面接相談：☎ 055-267-5887 平日 午前9時～午後5時 ※事前に電話でご予約ください。

ICT教育支援センター

□ICT教育支援センター

本センターは、山梨県教育委員会のICTに関する取組を広く支援しています。

ICT活用の研修・研究から、校内研修の支援、ICT機器やネットワーク環境の相談対応、グループウェア等の運用サポートまで、多岐にわたる業務を通じて、学校現場の皆さんの「ICT活用」を応援しています。

「機器の使い方がわからない」「こんな授業にICTを取り入れてみたい」など、どんな小さなことでも構いません。お気軽にご相談ください。

ICT教育支援センター直通 TEL：055-262-5508

□私たちの主な取組

①ICT利活用を支える研修・研究

教職員向けのICT活用研修や授業づくり研修の企画・実施

外部機関と連携した実践的な研究と情報提供

②学校訪問・相談支援

ICTに関する校内研修や研究会への講師派遣

ソフトウェアやネットワーク環境に関する技術的な相談対応

③情報教育の推進

児童生徒の情報活用能力の育成に向けた教材・授業づくりの支援

情報モラルやメディアリテラシーに関する校内研修の支援

PCリーダーやネットワーク担当者への支援と校内体制の整備支援

ICT支援員との連携による現場支援の充実

④教育用コンテンツの収集・発信

授業や校務に役立つデジタル教材・資料の収集と紹介

本センターホームページでの情報提供やデータベース整備

⑤システムの運用と業務効率化支援

PeachWare（学校情報支援システム）の運用サポート

教育情報ネットワーク「ハイユースネット」のヘルプデスク対応

□ホームページについて

①「やまなしeラーニング（YeL）」について

研修の効率化と充実、受講の利便性を図ることを目的に、YeLを運用しています。校内研修や自己の研修にも利用可能です。

②「ICT利活用推進」ページについて

ICTの利活用に関する情報をまとめています。〔基礎基本編〕〔ツールの使い方編〕〔授業等での活用・実践編〕〔ypedCT通信〕の4つの項目に分けて、情報提供をしています。

本センターのホームページを、是非一度ご覧ください。

山梨県総合教育センター

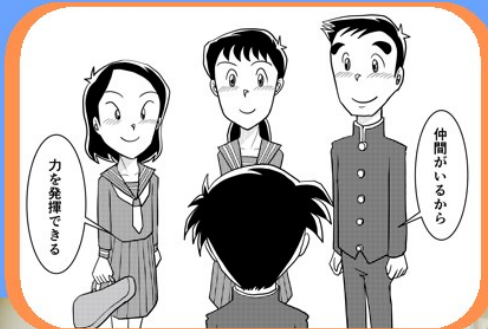
令和8年度 特別研修会

令和8年 6.10 Wed 14:00
16:30



【講師】熊本大学特任教授
まえだ やすひろ
前田 康裕

1962年 熊本県生まれ。
熊本大学教育学部美術科卒業後、教師として小中学校に25年間勤務。その間に、岐阜大学教育学部大学院教育学研究科を修了。熊本大学教育学部附属小学校教諭、熊本市教育センター指導主事、熊本市立小学校教頭、熊本大学教職大学院准教授、熊本市教育センター主任指導主事等を経て、2022年4月より現職。
『まんがで知る 教師の学び』
『まんがで知る 未来への学び』
『まんがで知る デジタルの学び』シリーズ、
【最新刊】
『まんがで知る 学習方略』（さくら社）など、著書多数



「子供主体」の授業づくりに向けた 教師の学びと校内研のアップデート ～ 子供が自分の力で学ぶための「学習方略」～

昨年度の研修の続編です。

教師の学びと子供主体の授業に向けた授業改善についてお話
いただきます。

「子供が自分から学ぶ授業」へと授業観をアップデートする
校内研究について一緒に考えましょう。

校内研修として学校単位で参加しませんか？

- ・ 県内教職員は、通常の研修の申し込み手順でお申込みください。(令和8年4月13日～5月15日)
- ・ 教育委員会関係者と私立学校の教職員は、下記URLまたは二次元コードよりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/LLt1Gt3TUD>

【お問い合わせ】
山梨県総合教育センター調査研究課
TEL 055-262-6180



きらりようすけ
吉良 良介

一般留学生について

◇令和9年度一般留学生の募集について

募集要項は、8月下旬に本センターのウェブサイトにはアップするとともに、各校に文書でお知らせします。
9月に願書受付、10月に選考検査実施予定です。応募をお待ちしております。

◇一般留学生とは・・・1年間の山梨県総合教育センターへの研究留学です！

各自の研究課題に基づき、センター内及び所属校にて1年間十分研究することができます。

- ・ 担当指導主事、支援グループ、研究協力員が研究を全面的にサポートします。
- ・ 国及び県の教育施策や教育課題等について考える研修会や講話会により、幅広い視点・知識を身に付ける
ことができます。詳細はセンターホームページをご覧ください。

令和8年度 一般留学生 ろう学校 嶋崎 宏美 先生

子どもの特性や背景を「問題」としてとらえるのではなく、学びを豊かにする多
様性として受け止め、教育相談を通して、子どもと保護者の不安やサインを早期に
受け止める仕組み作りについて研究しています。

教育相談・特別支援の先生方を始め、様々な校種・教科の指導主事の先生方が研
修や研究をサポートしてくださり、非常に充実した日々を過ごしています。

編集発行
山梨県総合教育センター
山梨県笛吹市御坂町成田1456
電話 055-262-5571
Fax 055-262-5572
発行責任者 所長 中村 智司
発行日 令和8年5月29日